

Indonesia Weekly



(対象期間: 2022/1/17~2022/1/21)

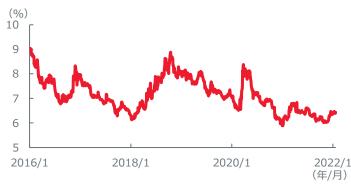


「株式市場]

週初は、17日に発表された12月の貿易収支が予想を大幅に下回ったことや18日の米国債の利回り上昇を嫌気し、インドネシア株式市場は下落しました。国会は首都をジャカルタからカリマンタン島に移転させ、新たな首都の名称を「ヌサンタラ」とする法案を18日に可決しました。19日もオミクロン株の新規感染者数が高水準になったことを受けて株価は続落しました。20日は商品価格の上昇を受けて、ニッケル株などが急伸し反発、21日も海外投資家からの資金フローに支えられて、銀行株を中心に続伸しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

| 2022/1/14 | 2022/1/21 | 変化率 |
|-----------|-----------|--------|
| 6,693.40 | 6,726.37 | +0.49% |

[債券市場] インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2022年1月21日)



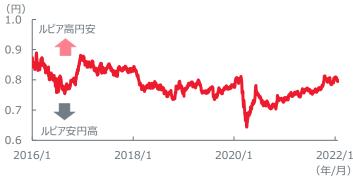
[債券市場]

(年/月)

18日の国債入札では、特に中短期債で国内外の投資家からの高い需要が見られましたが、米国債の利回り上昇を受けてインドネシア国債の利回りも上昇(価格は下落)しました。19日も株式などの下落に合わせて債券価格も下落(利回りは上昇)しました。20日に開催された金融政策決定会合では、市場の予想通り政策金利は据え置きとなりましたが、3月からの預金準備率の段階的引き上げが発表されました。インドネシアの債券市場は25日、26日に予定されている米連邦公開市場委員会を控えて神経質な展開となり、週末にかけて利回りは上昇傾向となりました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

| 2022/1/14 | 2022/1/21 | 変化幅 |
|-----------|-----------|--------|
| 6.387 | 6.426 | +0.039 |

[為替市場] インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2022年1月21日)



[為替市場]

週の前半は米国債利回りの上昇を背景に米ドル高が進行、ルピアは弱含みとなりました。週の半ばには米国債利回りの上昇に一服感が見られましたが、ルピアは安値圏での狭いレンジ内の推移となりました。20日の金融政策決定会合では政策金利は据え置かれた一方、3月からの準備預金率の段階的な引き上げが発表され、インドネシア中央銀行の金融資産の安定維持への姿勢は好感されました。週末にかけては株式市場への海外投資家からの資金流入を背景にルピアは上昇しました。ルピアは前週末比対米ドルではほぼ変わらず、対円では下落しました。

| 2022/1/14 | 2022/1/21 | 変化率 |
|-----------|-----------|--------|
| 0.7967 | 0.7946 | -0.26% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所:グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

く当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当首料では、個別企業に言及することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会